

第11回 訓練シナリオ開発ワーキンググループ 議事概要

1. 日時：令和5年6月20日 14:00～15:55

2. 場所：原子力規制庁 ERC

3. 出席者（テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁

古金谷緊急事態対策監

緊急事案対策室

杉本緊急事案対策室長、川崎企画調整官、反町専門職、

澤村防災専門官、宮田専門職、酒井専門職

北海道電力株式会社

原子力事業統括部 原子力業務グループ 副主幹 他6名

東北電力株式会社

原子力本部 原子力部 課長（原子力防災担当） 他4名

東京電力ホールディングス株式会社

原子力運営管理部 防災安全グループ マネージャー 他3名

中部電力株式会社

原子力部 防災・核物質防護グループ グループ長 他2名

北陸電力株式会社

原子力本部 原子力部 原子力防災チーム 統括（課長） 他2名

関西電力株式会社

原子力事業本部 原子力安全・技術部門 安全・防災グループ

チーフマネージャー 他3名

中国電力株式会社

電源事業本部 原子力運営グループ マネージャー 他3名

四国電力株式会社

原子力本部 管理グループ グループリーダー 他5名

九州電力株式会社

原子力発電本部 原子力防災グループ グループ長 他8名

日本原子力発電株式会社

発電管理室 警備・防災グループ GM 他1名

原子力エネルギー協議会

副長

4. 議題

議題1 令和4年度におけるⅠ型訓練の取り組みについて

議題2 令和4年度におけるⅡ型訓練の取り組みについて

議題3 今後の訓練シナリオ開発ワーキンググループ運営方針について

議題4 令和5年度訓練実施方針について

5. 議事要旨

議題1 令和4年におけるⅠ型訓練の取り組みについて

令和4年度におけるⅠ型訓練の取り組みについて議論し(資料1-1-1から資料1-5)、主に以下の事項を合意した。

- 令和4年度におけるⅠ型訓練の実績を訓練報告会で報告する。
- 訓練で得られた良好事例、気づき事項及び改善事項について、具体化・深掘りした上で、今後も原子力事業者(以下「事業者」という。)間で共有し、事業者はそれをプレーヤーまで周知する。また、この共有・周知について、事業者はルール化など体系的な管理を検討する。

議題2 令和4年度におけるⅡ型訓練の取り組みについて

令和4年度におけるⅡ型訓練の取り組みについて説明があり(資料2-1-1から資料2-3)、当該Ⅱ型訓練の実績を訓練報告会で報告することとした。

議題3 今後の訓練シナリオ開発ワーキンググループ運営方針について

訓練シナリオ開発ワーキンググループ(以下「WG」という。)の事業者主体による運営への移行について議論し(資料3)、主に以下の事項を合意した。

- WGの事業者主体による運営への移行を訓練報告会で報告する。
- 今後、WGは訓練シナリオの作成・蓄積のみならず、訓練で得られた良好事例、気づき事項及び改善事項を共有する場として引き続き活用する。
- 良好事例、気づき事項及び改善事項の共有に当たっては、抽象的な表現ではなく具体的な記載を行うよう努める。
- 原子力規制庁側は、今後、WGにオブザーバーとして陪席する。なおその際、原子力規制庁は面談録を作成し公開する。
- 事業者主体でWGを運営していくにあたり、自治体からの関心と透明性の確保に留意し、訓練への取り組みについて事業者側からの対外情報発信を検討する。

議題4 令和5年度訓練実施方針について

令和5年度におけるⅠ型及びⅡ型訓練の実施方針として、議題1～議題3の中から方針的事項を抽出し改めて説明があり（資料4）、主に以下の事項を合意した。

- WG運営主体の事業者側への移行に伴い、今後、訓練報告会における各報告事項の発表は事業者側が主体となっていく。
- 各事業者は今後、訓練日程について原子力規制庁に情報共有を適時行う。

以上